

## 授業公開（つづき）

昨年10月から1月まで実施した「現代都市問題」の授業公開については、すでにレポートでも紹介しておいた。写真は地図で名古屋のまちづくりを熱っぽく講義している授業風景である。これは大学の「情報誌」の表紙に掲載されるはずであったが、とある「事情」でボツになった。よく撮れているので、せっかくなのでレポートに使わせてもらった。

前にも書いたが、1限目の9時からで、寒い日がつづいたが、じつに熱心な受講者が多かった。私も毎回「刺激」を受けながら、いつも以上に準備をして講義した。講義が終わってから、よく書いてもらった感想・コメントを読むのが楽しみであった。若い学生とは一味違った感想



も多く、とくに戦後日本の都市問題と都市政策を考えるうえで大いに参考になった。

もう一つの写真は、講義終了後に会議室で行った「修了式」の様態である。学部長としての私の挨拶につづいて、一人ずつ「修了証書」を渡して、感想などを述べてもらった。厳しい「注文」が出るかと心配であったが、好意的な感想が大半であり、内心ホッとした。



昨年は開発と環境をテーマに「市民公開講座」も担当した。授業公開は講座のように1回限りで90分余りの講演とは違って、学生と

一緒に普段の講義を連続して聞いてもらうもので、受講者の姿勢もより積極的である。講義が終わってからも、私のHPを見てメールを送ってくれる受講者もいる。嬉しいものだ。また機会があれば、授業公開にも挑戦してみたい。 (2006年2月26日 記)